

第24回 御幸公園梅香事業推進会議（書面開催）

議題

- (1) 令和2年度の事業実施報告について
 - ・ウメの「接木」結果報告 ……資料1
 - ・御幸公園施設（梅林）の整備 ……資料2
 - ・御幸公園観梅会実施報告 ……資料3
 - ・うめかおる寄付・募金の受付状況 ……資料4
 - ・総合科学高校との取組 ……資料5

- (2) 令和3年度の事業計画について
 - ・うめかおる写真展及び川柳コンクールについて ……資料6
 - ・令和3年度観梅会等について ……資料7
 - ・令和3年度御幸公園施設整備予定 ……資料8
 - ・歴史・文化の伝承に関する取組 ……資料9
 - ・ウメの生育状況調査結果報告 ……資料10
 - ・「接木技術」を活用した御幸公園の梅林再生への取組 ……資料11

参考資料1：令和3年度御幸公園梅香事業スケジュール

参考資料2：御幸公園梅香事業実施要綱

参考資料3：御幸公園梅香事業推進会議設置要綱

参考資料4：令和3年度御幸公園梅香事業推進会議名簿

参考資料5：第23回御幸公園梅香事業推進会議議事録

ウメの接ぎ木 結果報告

令和2年度取組結果報告

①「接木・植樹体験」イベント（2月23日観梅会内容変更に伴い中止）

募集期間：1月15日（金）～2月8日（月） 主たるターゲット：小学校高学年生と親御さん 接木及び植樹体験：20本（予定）

募集方法：市政だより及び市ホームページによる広告 → 2組4名から応募あり

緊急事態宣言発出により、区HPトップ画面から掲載ページを移動 → 広告効果減

②道路公園センター研修（実施日：令和3年3月10日（水））

研修内容：大坪先生に指導を受けた整備課作業員（3名）を中心とした接ぎ木の實習

ウメの枝を使ったカッティング及びテープ結合の練習 = 1回/人 圃場における接木 = 10株

株数：リョクガク梅（三溪園から譲渡）による接木 = 3株 白梅（三溪園から譲渡）による接木 = 7株

参加人数：20名 實習人数 = 14名（3班に分かれて実施） → 作業時間1時間程度（練習～本番）

成果：楽しかったという声多数（接いだ苗木に名前を設置。活着を楽しみにしている）

接木を実施した21株（上記10株に加え講師となった職員が11株接木を実施）のうち9株が活着成功！（約4割）〈令和3年7月現在〉

令和3年度へ向けて

<整理・検討事項>

- ①現在、講師ができる整備課作業員は4名。技術の継承、本事業の継続のためには、他の作業員も接木の技術を身につける必要がある
- ②活着のためには灌水が重要であり、水源を確保する必要がある（貯水タンク運搬による散水等）
- ③令和4年度の梅林への移植を見据え、活着率が悪かった場合の対応（令和3年度も接木試験を継続実施）

実施状況写真



活着状况 (令和3年7月现在)



令和2年度の御幸公園施設(梅林)整備について(報告)

1. ウメの新植

・平成30年度に策定した「御幸公園梅林の将来像」に基づき、10本のウメを新植した。品種は梅郷、甲州最小、鶯宿、南高、白加賀の5種を各2本ずつ植樹した。また、幸区の造園業者からウメの無償提供があったため併せて植樹をおこなった。(鶯宿3本)

表 御幸公園梅林の将来像【植樹計画編】・植樹スケジュールと目標本数

区分	現状本数	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		本	内訳	本	内訳	本	内訳	本	増減内訳	本	増減内訳
① 白梅中心エリア	新植区(広場)	63	63	63		63		66	新植3本(空地の補植)	68	新植2本(空地の補植)
	新植区(斜面地)	5	10 新植5本(国道入口部分)	10		15	新植5本(苗木植栽跡地)	15		17	新植2本(空地の補植)
③	古木区	11	21 苗木移植10本	31	苗木移植10本(接木用)	31		34	新植3本(空地の補植) 接木試験5本	35	新植1本(空地の補植)
④ 紅梅中心エリア	古木区(多摩川側)	18	28 苗木移植10本	43	苗木移植15本(接木用)	43		45	新植2本(空地の補植) 接木試験15本	46	新植1本(空地の補植)
	古木区(国道側)	11	26 苗木移植15本	41	苗木移植15本(接木用)	46	新植5本(国道入口部分)	46		47	新植1本(空地の補植) 接木試験15本
⑥ その他エリア	芝生広場区	0	0	0		0		0		0	
	多摩川隣接区	0	15 苗木移植15本(接木用)	25	苗木移植10本(接木用) 接木試験10本	25	接木試験40本	27	新植2本(空地の補植)	30	新植3本(沿道部)
合計本数		108	163	213		223		233		243	

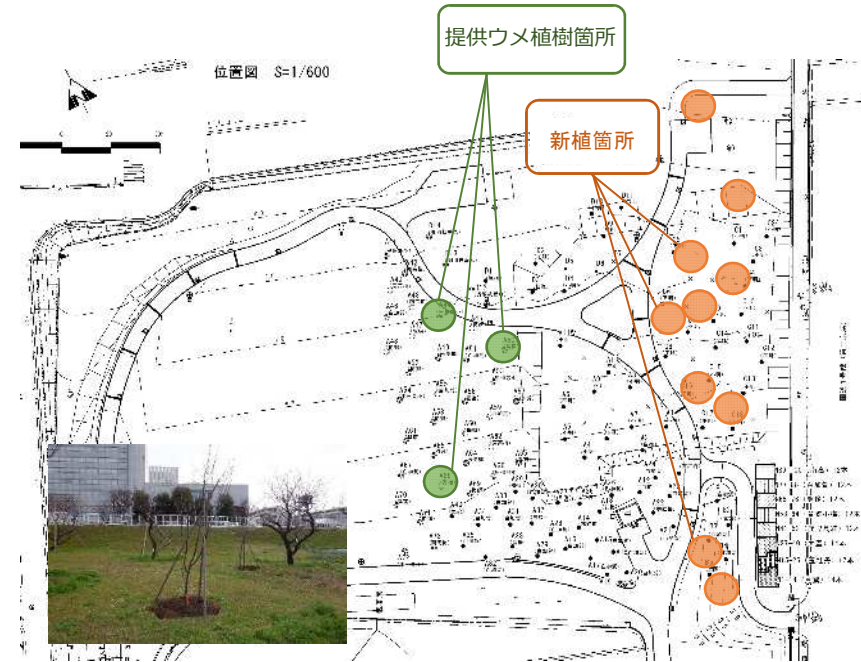


図1 植樹箇所

2. 健康器具整備

・健康器具3基を設置

現況写真



写真1 複合健康器具



写真2 ポートこぎ



写真3 とび石



図2 令和2年度の整備箇所

道路公園センター・企画課

令和2年度 御幸公園観梅会 実施報告について

1 日時

令和3年2月19日（木）～3月7日（日）：9時～17時

2 内容

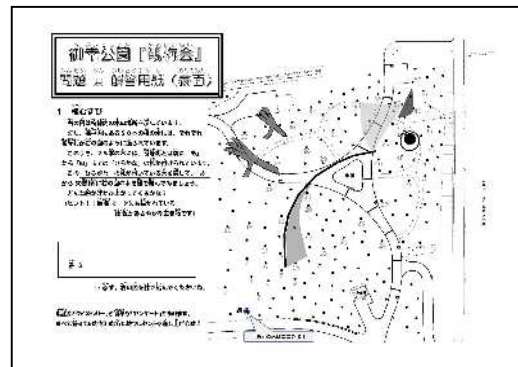
- 保護柵の一部を開放し、梅林内での鑑賞の機会を提供
- クイズラリー
梅林内に、御幸公園の梅に関するクイズを出題（5題）
- “梅”むすび
梅林内に入れる機会を利用し、指定した梅の木を結ぶと絵が浮かび上がる「点むすび絵」を実施
※公園内で配布する解答用紙に記入・提出していただいた先着200名に「梅香事業特製ノベルティ」をプレゼント

3 周知・広報チラシ

- イラスト制作：川崎総合科学高等学校デザイン科 平岡 侑紗さん（参照：別紙1）
- ポスター（掲示）
区内公共施設、広報掲示板、全町内会連合会にて町内会掲示板へ掲示の依頼 等
- チラシ（配布）
御幸公園内案内所、区内公共施設、近隣小中高等学校 等
- 区HP、SNS



ポスター



梅むすび

4 実施結果

- 観梅会案内所の設置（常時1名配置）
【役割】観梅会のチラシ配布、景品引換え、梅林内の巡視等
- イベント参加者数（景品引換件数）
655件
- トラブル等
なし
- 来園者の傾向
 - ・平日は年配の方、休日は親子連れが多い。
 - ・平日の夕方には子供たちが多い。（子どもたちだけで楽しむ。）
 - ・早朝から昼にかけて、カメラを片手に鑑賞する人が非常に多かった。



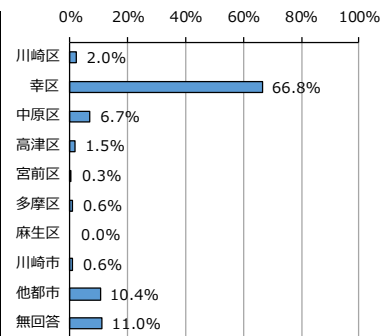
5 アンケート集計結果について

※アンケート調査票（参照：資料3）を用いて調査を実施。（回答者数：654）

(1)お住まいの地域

N=654

項目	回答者数 (R2)	構成比 (R2)	構成比 (R1)
川崎区	13	2.0%	7.3%
幸区	437	66.8%	79.3%
中原区	44	6.7%	4.0%
高津区	10	1.5%	0.0%
宮前区	2	0.3%	0.7%
多摩区	4	0.6%	0.0%
麻生区	0	0.0%	0.0%
川崎市	4	0.6%	0.7%
他都市	68	10.4%	6.0%
無回答	72	11.0%	2.0%



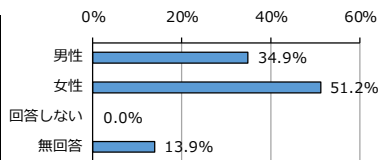
※「その他」記述

・大田区(31) ・鶴見区(1) ・横浜市(23) ・品川区(4) ・世田谷区(1) ・浦安市(1)

(2) ①性別

N=654

項目	回答者数 (R2)	構成比 (R2)	構成比 (R1)
男性	228	34.9%	26.7%
女性	335	51.2%	52.0%
回答しない	0	0.0%	0.0%
無回答	91	13.9%	21.3%

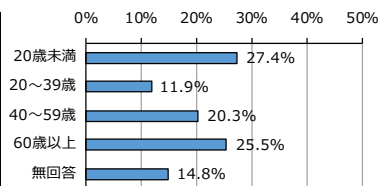


※ 昨年度より若い世代の来場者数が増加！

(2) ②年齢

N=654

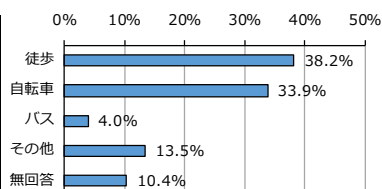
項目	回答者数 (R2)	構成比 (R2)	構成比 (R1)
20歳未満	179	27.4%	23.3%
20～39歳	78	11.9%	8.7%
40～59歳	133	20.3%	20.0%
60歳以上	167	25.5%	38.0%
無回答	97	14.8%	10.0%



(3) 来場方法

N=654

項目	回答者数	構成比	構成比 (R1)
徒歩	250	38.2%	41.3%
自転車	222	33.9%	34.0%
バス	26	4.0%	4.7%
その他	88	13.5%	4.7%
無回答	68	10.4%	6.0%



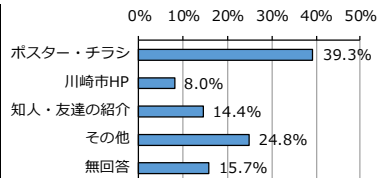
※「その他」記述

・車(65) ・電車(5) ・バイク(5) ・タクシー(2) ・原付(1) ・キックボード(1) ・キャスターボード(1)

(4) 「観梅会」の開催を何で知りましたか（複数回答）

N=654

項目	回答者数	構成比	構成比 (R1)
ポスター・チラシ	257	39.3%	40.7%
川崎市HP	52	8.0%	6.7%
知人・友達の紹介	94	14.4%	7.3%
その他	162	24.8%	10.7%
無回答	103	15.7%	6.0%



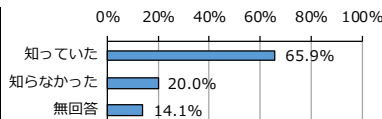
※「その他」記述

・通りがかり ・公園の展示物 ・ネット検索 ・梅の木を寄付したから
・学校 ・JRの駅 ・スマートニュース ・テレビ ・つなぐっとKAWASAKI

(5) 御幸公園に梅林があることをご存知ですか

N=654

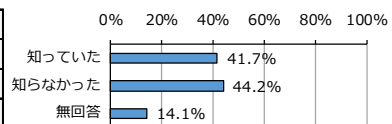
項目	回答者数	構成比	構成比 (R1)
知っていた	431	65.9%	80.0%
知らなかった	131	20.0%	14.0%
無回答	92	14.1%	6.0%



(6) 「御幸公園梅香事業」をご存知ですか

N=654

項目	回答者数	構成比	構成比 (R1)
知っていた	273	41.7%	53.3%
知らなかった	289	44.2%	40.7%
無回答	92	14.1%	6.0%

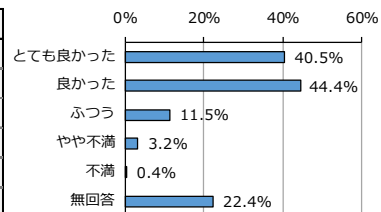


(7) 本日の「観梅会」はいかがでしたか

N=654

項目	回答者数	構成比	構成比 (R1)
とても良かった	226	40.5%	34.0%
良かった	248	44.4%	49.3%
ふつう	64	11.5%	5.3%
やや不満	18	3.2%	0.0%
不満	2	0.4%	0.0%
無回答	96	22.4%	11.3%

84.9% !



5 その他、ご意見・ご要望等をご自由に記入ください (自由記述) (回答数：320)

- A 近くに住んでいてこんなに素敵なイベントがあるなんて知らなかった。また来年も楽しみにしている。
- B せっかくの美しい梅が、コロナのせいで大勢の人に観てもらえず残念
- C 梅林を植栽して昔のようにしてもらえるのは幸区民として有難い誇りに思う。
- D コロナ後は、例年行っていたイベントにも参加してみたい。
- E クイズが、小さい子どものひらがなの勉強にもなり、とても良い取り組みだと思った。梅の種類がこんなにもあるとは知らなかった。
- F イベントはなくても、軽食販売等があるとなお雰囲気が出て楽しめるのではないか。
- G クイズをたどりながら、梅を全種見ることができた。シンプルな白加賀と華やかな豊後、紅が映える鹿児島紅が印象に残った。
- H チラシのデザインが良かった。
- I 梅の実及び木の販売をしてみたい。
- J 市報等で情報を流し、その際、外国人でも情報が分かるよう英文でも流してみたい。
- K 柵の中で、間近に梅をまんべんなく鑑賞でき、また、梅の匂いも近くで嗅ぐことができて良かった。
- L 梅むすびとうめQが面白かった。
- M コロナの中で梅を観て気分が上がった。来年もやって欲しい。
- N 公園がきれいに整備され、居心地がよかった。
- O 密にならず、ソーシャルディスタンスも保て、安心できる催しだった。友人にも勧めたい。
- P 梅の復活に向け、努力されていることに感銘した。

6 振り返り 及び 次回イベント開催に向けて

(振り返り)

- 今年度で4回目 (イベントの規模を拡大してからは3回目) の開催となった「観梅会」は、新型コロナウイルスの影響により、昨年度までの音楽演奏等の催し物は実施せず、内容を変更しての開催となった。
- 期間を長めに設定したことで、品種ごとの梅の咲ごろを見定め、何度も足を運びリピーターもいたことから、梅への愛着という面で期間設定は一定の効果はあったものとする。

(その他、改善点等)

- 今年度のように観梅の期間を設ける場合には、イベントとは別に、梅林の管理委託に係る費用を必要とするほか、職員が常時公園にいないため、物品の過不足状況やトラブル等が起きた際の報告など、委託業者との密な連絡調整が必要
- 案内所に寄付や募金に係る問合せが数件あったことから、寄附に関する資料及び募金箱の設置など、善意に対する観梅会の機会を活用した効果的な対応を検討する必要がある。
- 次回は、柵の開放期間とうめかおる写真展の期間を同様に設定することで、より効果的な事業の周知に繋がると思われる。

うめかおる寄附・募金の受付状況等について(報告)

1 令和2年度(R3.3.31現在)

種別	寄附者	件数	金額	プレート申込
寄附	個人	16 件	1,010,005 円	12 件
	団体・企業	0 件	0 円	0 件
募金	-	-	7,233 円	-
計	-	16 件	1,017,238 円	12 件

2 累計額(参考)

年度	種別	寄附者	件数	金額	プレート申込
H29	寄附	個人	23 件	1,108,000 円	13 件
		団体・企業	9 件	850,000 円	9 件
	募金	-	-	7,828 円	-
	小計	-	32 件	1,965,828 円	22 件
H30	寄附	個人	12 件	730,000 円	7 件
		団体・企業	5 件	300,000 円	5 件
	募金	-	-	20,536 円	-
	小計	-	17 件	1,050,536 円	12 件
R01	寄附	個人	12 件	423,001 円	5 件
		団体・企業	3 件	168,000 円	3 件
	募金	-	-	30,564 円	-
	小計	-	15 件	621,565 円	8 件
R02	寄附	個人	16 件	1,010,005 円	12 件
		団体・企業	0 件	0 円	0 件
	募金	-	-	7,233 円	-
	小計	-	16 件	1,017,238 円	12 件
計	-	80 件	4,655,167 円	54 件	

令和 2 年度 川崎総合科学高等学校との取り組みについて

1. 川崎総合科学高等学校への提案事項

- 1) 動画作成
- 2) カレンダー作成及び写真展参加依頼
- 3) ボランティア活動の体験

2. 令和 2 年度の実績について

- 1) 御幸公園及び観梅会等を PR する動画の作成 ……………PR 動画

協力：映像制作同好会、放送委員会

緊急事態宣言発令に伴い、観梅会が縮小されたため、接木イベントの実施ができなかった。そのため、当初依頼を予定していた 2 本の動画内容を変更し、三溪園との歴史及び接木による御幸の梅の里帰りについての 1 本の PR 動画の作成をしていただいた。Youtube の川崎市幸区チャンネルで公開。

- 2) 御幸公園及び梅等の写真を使用したカレンダーの作成 ……………配布カレンダー

協力：写真部 3 年 石尾明奈さん（令和元年度の観梅会ポスター作成者）

当初は、カレンダーの写真撮影及びカレンダーの構成・作成を写真部に依頼予定であったが、令和 2 年の写真撮影が間に合わなかったことと、依頼をしてから配布まで時間がなかったため、写真部の中で御幸公園や梅を撮影していた石尾さんからデータをいただき、川崎市で簡易カレンダーを作成し、観梅会の記念品として配布した。

3. 令和 3 年度の活動方針

- 1) カレンダーの作成

協力：写真部

令和 4 年は幸区制 50 周年の年であり、令和 3 年度の観梅会(令和 4 年 2 月ころ)や区役所などで無料配布を考えている記念品として、梅香事業カレンダーの作成を考えており、昨年度よりも質の良いものを考えている。現在、写真部に写真を撮影していただいているところで、4 月から順次打ち合わせや検討会を開き、どのようなスタイル(壁掛けや卓上、何ヶ月のものにするか等)のカレンダーを作成するのか考えて実施していく。

- 2) ボランティア活動の体験

協力：ボランティア部

ボランティア同好会の生徒に同好会活動の一活動として、梅の育成作業に参加してもらおう。梅の年間育成計画を踏まえ、観梅会での披露を集大成とした「うめサポ」活動のモデルケースを検討し、川崎市の職員や他のボランティアの皆さんと共に実施する。これらを体験し、活動内容の記録を残してもらい、学校や同好会のホームページや SNS 等を活用して周知を図る。

うめかおる写真展及び川柳コンクールについて

幸区役所地域振興課

1 うめかおる写真展

【実施計画 1 - (2) 関係】

(1) 令和 2 年度事業結果

ア 写真展日程

(ア) 幸区役所 令和 2 年 4 月 16 日 (木) ~ 6 月 30 日 (火)

(イ) 日吉出張所 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止

イ 令和 3 年度うめかおる写真展に向けて

(ア) 募集期間 令和 3 年 1 月 18 日 (月) ~ 2 月 26 日 (金)

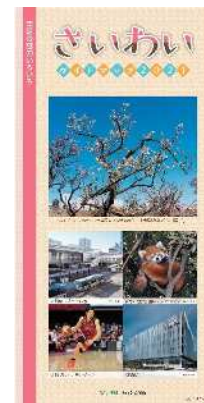
(イ) 応募総数 208 点

(ウ) 区長賞等の授与 令和 3 年 3 月 22 日 (月)

(幸区長賞、幸観光協会会長賞、幸区文化協会会長賞、タウンニュース賞)

(エ) 受賞作品の活用

「2021 年さいわいガイドマップ」表紙に幸区長賞受賞作品を掲載



2021 年 さいわいガイドマップ

(2) 令和 3 年度事業計画

ア 写真展日程

(1) イ(イ)の全応募作品を令和 3 年度うめかおる写真展にて展示する。

(ア) 幸区役所 令和 3 年 4 月 1 日 (木) ~ 4 月 15 日 (木)

(イ) 日吉出張所 令和 3 年 5 月 7 日 (金) ~ 5 月 18 日 (火)

(ウ) 中原区役所 令和 3 年 7 月 5 日 (月) ~ 7 月 16 日 (金) ※御幸公園の写真のみ

イ 令和 4 年度うめかおる写真展に向けて

(ア) 募集期間 令和 4 年 1 月 11 日 (火) ~ 2 月 28 日 (月) (予定)

(イ) 区長賞等の授与 令和 4 年 3 月下旬 (予定)

2 川柳コンクール

【実施計画 6 - (1)、(2) 関係】

(1) 令和 2 年度事業結果

令和元年度の試行実施の結果を踏まえつつ、区制 50 周年を迎える令和 4 年度以降の本格実施に向けて、川崎市立西御幸小学校及び古川小学校の全学年を対象に実施。

ア 募集期間 令和 2 年 12 月 1 日 (火) ~ 令和 3 年 1 月 12 日 (火)

イ テーマ 幸区と梅

ウ 応募総数 西御幸小学校 330 点

古川小学校 863 点

エ 発表 令和 3 年 2 月 1 日 (月) ~ 26 日 (金) 幸区役所展示コーナーにて展示

オ 記念品 応募者全員に色鉛筆セットを贈呈

(2) 令和 3 年度事業計画

令和 2 年度の試行実施の結果を踏まえつつ、区制 50 周年での本格実施に向けて、校章に梅の花のデザインが用いられている、区内 5 つの市立小学校の 3 年生を対象に試行実施する。

- ア 対 象 御幸小学校、南河原小学校、西御幸小学校、戸手小学校、古川小学校の3年生
- イ 募集期間 令和3年12月上旬～令和4年1月中旬（予定）
- ウ 応募点数 1人1句
- エ 発 表 幸区役所展示コーナーにて展示
- オ 記 念 品 応募者全員に記念品を贈呈

3 令和3年度のスケジュール予定

		R3				R4					
		4月	5月	6～10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
写真展		R3年度 写真展		募集要項の決定等			R4年度 募集・選考		表彰		
		受賞作品の活用（2021ガイドマップ表紙掲載など）							受賞作品の活用		
川柳		内容の検討				募 集		展 示			

令和3年度 企画課 「観梅会」等について

1 梅の学習

【基本目標6 次世代への継承 - 実施計画（1）学校における梅の学習】

- 西御幸小学校3年生の総合学習（御幸公園の梅）
- 内 容：①年間を通じて梅の木の観察
②摘果作業や維持管理などの協働による取組

※参考 H29年度〔担当：道路公園センター〕：事業の周知・啓発
 H30年度〔担当：企画課〕：事業の周知・啓発、梅香事業に関するシール投票調査
 R元年度〔担当：企画課〕：「梅香クッキング」プレイベント～梅の実の活用プロジェクト～
 R2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 SNSを活用した取組の発信

【基本目標1 魅力の発信 - 実施計画（1）情報発信】

- 総合科学高校が作成したPR動画の発信（R3.3.25）
- 梅の摘果状況の発信（総合科学高校との連携）（R3.5.28）
- その他、年間を通じ、梅香事業での取組を随時発信する予定

3 観梅会の開催

【基本目標1 魅力の発信 - 実施計画（3）梅まつり（観梅会）の開催】

【基本目標6 次世代への継承 - 実施計画（1）学校における梅の学習】

【基本目標6 次世代への継承 - 実施計画（3）学校との連携による魅力発信】

令和3年度 御幸公園 観梅会：開催候補日（案）

R4年2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 建国記念の日	12
13	14	15	16	17	18	19
●ハノミズキコンサート （地域振興課）					←	●春の総合防災訓練 （危機管理担当）
20	21	22	23 天皇誕生日	24	25	26
1日イベント候補日①			1日イベント候補日②	観梅会期間		1日イベント候補日③
27	28	1	2	3	4	5
1日イベント候補日④	→					●市民活動交流イベント （地域振興課）

※総合科学高校の卒業式：例年、3月5日（4月頃決定の見込み）
 ※各イベントの開催日：あくまで現時点での見込みであり、確定していない。

○スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観梅会の開催	開催日検討・調整			▼推進会議にて開催日決定 観梅会開催▼ 観梅会の企画検討、各活動団体・学校等に出演依頼、 開催に向けた協議・調整・準備等								
学校における 梅の学習	▼総合学習等の実施依頼、観梅会での学習成果発表依頼 総合学習等の実施・発表会に関する協議・調整等、出前授業等の実施など									観梅会での学習成果発表会▼		
学校との連携 による魅力発信	▼観梅会への出演依頼			出演に関する協議・調整等、デザイン制作に関する協議・調整等						観梅会出演▼		
	▲観梅会チラシデザイン制作依頼					作品受領▲	推進会議にて 作品選考・決定▲		採用作品を用いた チラシにて観梅会の 広報・魅力発信▲		観梅会にて 採用作品制作者 への感謝状贈呈▲	

令和3年度の御幸公園整備について

1. R3年度植樹スケジュール

・平成30年度に策定した「御幸公園梅林の将来像」に基づき、10本のウメを新植する。
 新植する品種については花ウメを検討している。(図1着色部分)

区分	現状本数	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		新植5本、移植50本	内訳	新植50本	内訳	新植10本	内訳	新植10本	増減内訳	本	増減内訳
① 白梅中心エリア	新植区(広場)	63	63		63		63	66	新植3本(空地の補植)	68	新植2本(空地の補植)
	新植区(斜面地)	5	10	新植5本(園道入口部分)	10		15	15	新植5本(苗木植栽跡地)	17	新植2本(空地の補植)
③	古木区	11	21	苗木移植10本	31	苗木移植10本(接木用)	31	34	新植3本(空地の補植) 接木試験5本	35	新植1本(空地の補植)
④ 紅梅中心エリア	古木区(多摩川側)	18	28	苗木移植10本	43	苗木移植15本(接木用)	43	45	新植2本(空地の補植) 接木試験15本	46	新植1本(空地の補植)
	古木区(園道側)	11	26	苗木移植15本	41	苗木移植15本(接木用)	46	46	新植5本(園道入口部分)	47	新植1本(空地の補植) 接木試験15本
⑥ 其他エリア	芝生広場区	0	0		0		0	0		0	
⑦	多摩川隣接区	0	15	苗木移植15本(接木用)	25	苗木移植10本(接木用) 接木試験10本	25	27	接木試験40本 新植2本(空地の補植)	30	新植3本(沿道部)
合計本数		108	163		213		223		233		243

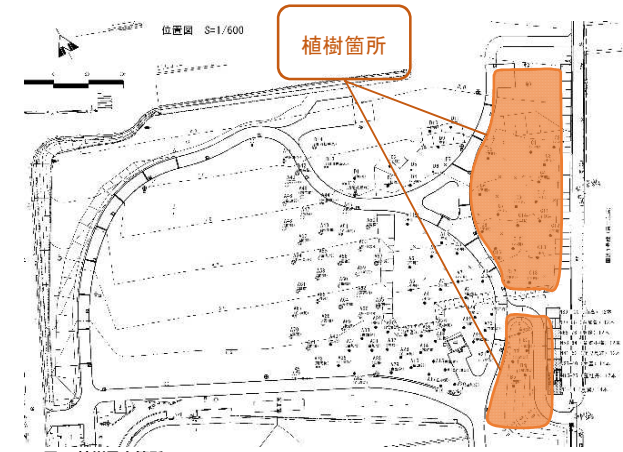


図3 植樹予定箇所

2. R3年度施設整備

- ・御幸公園を一周するキロポストの設置(100m毎に1基設置)
 Aコース(456m)…キロポスト5基設置
 Bコース(717m)…キロポスト8基設置

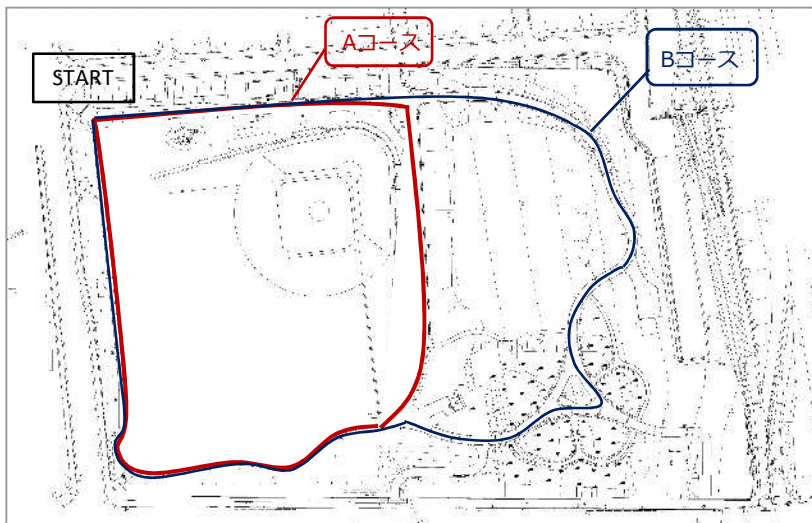


図4 キロポスト対象コース



図5 キロポストイメージ図

歴史・文化の伝承に関する取組について（案）

～歴史的に活躍した人物の紹介「成島柳北」～

1 歴史・文化の伝承に関する取組の経緯

平成28年度から実施してきた「歴史講演会」については、江戸時代から順に各時代の御幸地区の歴史をテーマとして5回計画で実施してきましたが、令和元年度に取り上げた近現代を最後に終了とした。

各時代にスポットを当てたこれまでの「歴史講演会」に代わる新たな取組として、御幸公園の歴史に深く関わる人物として講演会でも取り上げられ、観梅の場所として小向を有名にした「成島柳北」氏の功績を称え、同氏を顕彰する取組について、検討を行う。

《成島柳北氏経歴》

天保8年（1837）浅草にて誕生。二十歳で将軍侍講（儒学を教育する役目）に就任。慶応4年（1868）、外国奉行、ついで会計副総裁に就任するが、江戸開城の前日、すべての職を辞して隠棲。以後、官途には就かず、「朝野新聞」社長、また「花月新誌」を創刊し文筆家として活躍。明治17年（1884）11月30日没。

2 「成島柳北」顕彰事業（案）

(1) 歴史講演会の開催

同氏をテーマとした講演会を、複数年計画で連続開催し、周知を図る。

(2) 見学ツアーの開催

同氏にゆかりのある場所を見学し、知識や理解を深める。

【見学場所候補】

- ・江戸東京博物館
- ・綱島「飯田家」
- ・長命寺（東京都墨田区）

(3) 図書館関連本コーナーの設置

観梅会の時期などに合わせて、同氏の関連本コーナーを図書館内に設置する。

(4) 多くの人に知ってもらう取組の展開

同氏の偉大な功績を後世にも長く伝えるため、節目の年（市制100周年など）に合わせ、記念碑の設置などに向けての検討を進める。

3 令和3年度の取組（案）

(1) 歴史講演会の開催

日 時：令和3年10月～11月頃

場 所：幸区役所4階会議室または幸市民館会議室

テーマ：「成島柳北」と小向梅林

(2) 見学ツアー

日 時：未定

場 所：江戸東京博物館

※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更になる可能性あり。

（生涯学習支援課）

ウメの生育状況調査について

御幸公園梅林において、①ウメ輪紋ウイルスの調査、②名札調査、③樹勢調査を実施しました。

1. 調査概要

- ①調査日：令和3年7月15日（木）9:00~12:00, 7月28日(水)13:30~15:00
- ②調査場所：御幸公園梅林内
- ③調査員：幸区役所道路公園センター職員

2. 調査項目

①ウメ輪紋ウイルスの調査

病葉の有無

- ・農林水産省の資料を参考に、病葉の発生状況について調査を実施
(項目) ++: 明確な発症 +: 疑わしい -: 発症無

アブラムシの発生状況

- ・ウメ輪紋ウイルスを媒介するアブラムシの発生状況について調査を実施
(項目) ++: 全体に発生 +: 一部に発生 -: 発生無

②名札調査

- ・対象木に設置している名札の劣化状況について調査を実施
(項目) +: 要交換 -: 異常無

③樹勢調査

- ・対象木の樹勢について調査を実施
(項目) ++: 枯れ +: 経過観察 -: 異常なし

④その他調査

- ・その他に病気や生育不良などが確認できるか調査を実施



ウメ輪紋ウイルスの病葉
(農林水産省HPより)



アブラムシの発生



樹名札の設置

令和3年度調査結果（令和3年7月15日,28日実施）

1.ウメ輪紋ウイルスの調査

1-1.病葉の有無

- ウメ輪紋ウイルスへの感染が疑われる樹木は認められなかった。

1-2.アブラムシの発生状況

- アブラムシの発生が見られる樹木は確認されなかった。

2.名札調査

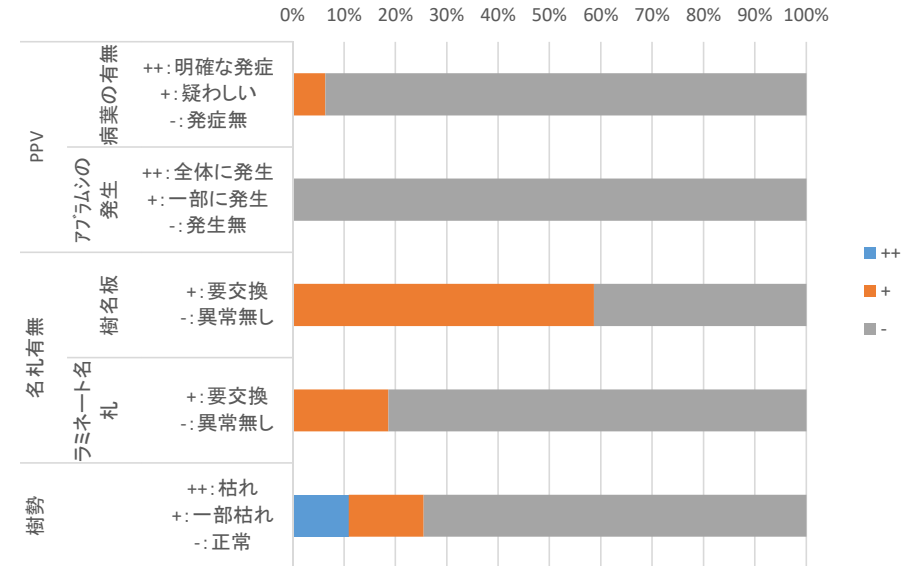
- 令和3年2月の観梅会にて設置した名札の状況について調べたところ、ラミネート名札の破損あるいは欠損が見られた樹木は41本であった。
- 今後、随時樹名板の設置を行う。

3.樹勢調査

- 梅林内ウメ220本のうち、24本については枯死や樹勢の弱っているものが確認されたため、必要な樹勢回復をはかるとともに更新の必要性を含め対応を検討する。

4.その他調査

- 1-1で確認された病症以外に葉に黒点や白いカビ等の病症がみられた。





時代を接ぐプロジェクト — 接木技術により三溪園の梅や“小向”を御幸公園へと移す —

川崎市幸区役所道路公園センター 整備課 協働推進担当

目的

- 1 | 江戸・明治にかけて観梅の名所が存在
- 2 | 梅の衰退、一部梅が三溪園へと移植
- 3 | 梅林を再生するための事業を開始
- 4 | 接木技術によって御幸公園と三溪園を接ぐ



御幸公園のある川崎市幸区小向には、50ヘクタールを超える梅林が存在し、明治天皇が訪れるほどの観梅の名所でした。



しかしながら、多摩川の氾濫・梅の老木化などから梅林は衰退し、生き残った梅は三溪園へと移植されることになりました。



平成28年度、川崎市では、かつての梅林を再生させることを目的とした「御幸公園梅香事業推進計画」を策定し、植樹活動・観梅会の開催などの取組を進めています。



梅林再生に向けた基盤が整った現在、今度は三溪園の梅を接木技術によって御幸の地へと戻すことで、時代を超えた文化・歴史の交流を行ってきたいと考えています。

方法

■ 接木の方法

1 | 穂木（ほぎ）を準備する



2 | 台木（だいぎ）を準備する



3 | 穂木を台木に接ぐ



■ スケジュール案

年度	三溪園	品種“小向”の接木	御幸公園（川崎市）
R1	穂木提供について調整		
R2	1月下旬～2月下旬 穂木提供	穂木提供について調整	2月下旬～3月上旬 観梅会・接木イベント 台木園場整備 台木購入・植付
R3		2月下旬～3月上旬 穂木提供	11月上旬～12月下旬 灌水等の管理 接木イベント
R4	1月下旬～2月下旬 穂木提供		2月下旬～3月上旬 観梅会・接木イベント 観梅会・園内植樹式

- ・令和3年度に接木イベントを開催できるように、調整を進めてまいります
- ・令和2年度に引き続き、令和3年度も三溪園からの接木試験を実施したいと考えています
- ・令和3年度は“小向”の接木試験を実施したいと考えています
- ・令和4年度の観梅会では、約2年間育てた接木苗を御幸公園梅林へと移植する植樹式を予定しています

資料 1-1



アクセス

至東京

多摩川

第 京 浜

御幸公園

球場

高校

東芝研究開発センター

石川 武道館
●御幸公園の概要
所在地 | 川崎市幸区東古市場1
開設 | S25.4.1
面積 | 約3ヘクタール

幸区役所
道路公園
センター

御幸公園梅香事業実施要綱

(目的)

第1条 幸区の魅力ある地域資源の一つであり、明治天皇が観梅に行幸された御幸公園において、豊かな緑、文化、芸術、歴史等の特徴を活かしながら、区民の地域への愛着と誇りを育てていくため、様々な主体との連携及び協働を通して、賑わい及び彩り豊かな「御幸公園梅香事業」（以下「事業」という。）を実施する。

(事業の内容)

第2条 事業の内容は、次の各号に掲げる事項とする。

- (1) 地域との協働事業に関する事。
- (2) 学校との連携事業に関する事。
- (3) 梅林の保全に関する事。
- (4) 梅林の活用に関する事。
- (5) 御幸地区の歴史・文化に関する事。
- (6) イベント等の企画及び実施に関する事。
- (7) 梅の植樹に係る寄付に関する事。
- (8) その他必要な事項に関する事。

(御幸公園梅香事業推進会議)

第3条 事業を実施するに当たり、御幸公園梅香事業推進会議を設置する。

(その他)

第4条 この要綱の定めのない事項については、区長が定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年10月1日から施行する。

御幸公園梅香事業推進会議設置要綱

(目的及び設置)

第1条 御幸公園梅香事業実施要綱第3条に基づき、御幸公園梅香事業（以下「梅香事業」という。）を地域住民を中心とした様々な主体が協働して推進するため、御幸公園梅香事業推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 推進会議は、梅香事業の推進に関することについて協議する。

(構成)

第3条 推進会議は、別表に掲げる者をもって構成する。

- 2 推進会議には、委員長、副委員長及び顧問を置くものとする。
- 3 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 4 委員長は、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 6 顧問は、幸区長とする。
- 7 推進会議は、顧問に意見を求めることができる。
- 8 委員長が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(推進会議)

第4条 委員長は、必要に応じて推進会議を招集し、その議長となる。

- 2 委員は、推進会議に出席できないときは、その指名する者を代理で推進会議に出席させることができる。

(事務局)

第5条 推進会議の事務局は、幸区役所道路公園センターに置く。

(その他)

第6条 この要綱に定めのない事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年10月1日から施行する。

別表（第3条関係）

	所属団体等
1	幸区町内会連合会
2	幸区老人クラブ連合会
3	幸区子ども会連合会
4	幸観光協会
5	幸区文化協会
6	企業
7	学校

顧問	区長
----	----

「御幸公園梅香事業」推進会議 名簿

委員

	所属団体等	氏名	役職
1	幸区町内会連合会	中川 潔	会長(南河原地区町内会連合会会長)
2	幸区町内会連合会	金井 弘年	副会長(御幸地区町内会連合会会長) 古市場町内会会長
3	幸区町内会連合会	齊木 敏雄	副会長 (日吉地区町内会連絡協議会会長)
4	小向仲野町新生会	佐野 昇	町内会長
5	幸区老人クラブ連合会	佐藤 例藏	会長
6	幸区子ども会連合会	神谷 厚子	副会長
7	幸観光協会	加藤 邦彦(副委員長)	専門委員
8	幸区文化協会	山田 益男	会長
9	株式会社東芝 小向事業所	金子 真也	総務部総務担当グループ長
10	市立小学校	加賀田 葉子	古市場小学校校長
11	市立中学校	石塚 全	御幸中学校校長
12	市立高等学校	荒井 利之	川崎総合科学高等学校校長
オブザーバー	教育委員会文化財課	服部 隆博	課長
顧問	幸区役所	関 敏秀	区長
事務局長	幸区役所道路公園センター	石井 芳和	所長

令和2年度 第23回御幸公園梅香事業推進会議
議事録

1. 日時 令和3年3月5日(金) 14:30~15:00

2. 場所 幸区役所4階第会議室

3. 出席

□委員

○幸区町内会連合会	中川潔	委員長
○幸観光協会	加藤邦彦	副委員長
○幸区町内会連合会	齋木敏雄	委員
○幸区町内会連合会	金井弘年	委員
○幸区子ども会連合会	神谷厚子	委員
○幸区文化協会	山田益男	委員
○西御幸小学校	平井育子	委員
○御幸中学校	石塚全	委員

(順不同)

□顧問

○幸区長	関敏秀
------	-----

□関係者

副区長	小田桐恵
企画課	齋藤正 課長、名藏健二 担当係長、高橋結実子 職員
地域振興課	鈴木康夫 課長、福本静 係長、真田遼太 職員
生涯学習支援課	小笠原智 課長補佐

□事務局

○幸区役所道路公園センター	中村了治 所長
管理課	中村亮太 係長、長瀬元 主任、雪田春奈 職員
整備課	小松正 課長、廣井勝成 担当課長、田中昭子 係長、佐々木奈々 職員、森優香 職員

4. 欠席

○小向仲野町新生会	佐野昇	委員
○幸区老人クラブ連合会	佐藤例藏	委員
○川崎総合科学高等学校	荒井利之	委員
○株式会社東芝小向事業者	金子真也	委員

5. 傍聴者 0人

6. 配布資料

議事次第

資料1 うめかおる写真展及び川柳コンクールについて

資料2 令和2年度御幸公園観梅会の実施状況について

7. 議題

開会

議題

(1) うめかおる写真展及び川柳コンクールについて

(2) 令和2年度御幸公園観梅会の実施状況について

(3) その他報告事項等

閉会

8. 決定事項

うめかおる写真展の入賞作品について

9. 会議の内容及び主な発言

事務局) ・開会宣言及び資料の確認についてのアナウンス
・川崎市審議会等の会議の公開に関する条例における会議公開の対象となっているため、傍聴の許可をしているので、御了解をいただきたい。
・報道関係者の取材についても許可をしている。
・行政の記録や市政だより等への資料のため、会議の様子を撮影している。
・会議録を作成するため、終了まで録音をしている。

委員長) ・年度末で忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
・令和2年度においては、皆さまに大変お世話になり、本日を迎えることができました。
・令和3年度の梅香事業へ向けて、本日の会議もよろしく申し上げます。

議題(1) うめかおる写真展及び川柳コンクールについて

地域振興課) ・資料1を用いて実施報告。

- ・うめかおる写真展への作品を令和3年1月18日(月)～2月26日(金)に募集したところ208点の応募があり、昨年より3倍近く増加している。また、県外からの応募が65点あった。
- ・入賞作品については、幸区長賞、幸観光協会会長賞及び幸区文化協会会長賞として、本会議にて委員の皆さまに決定をしていただこうと考えている。授賞式については、令和3年3月22日(月)を予定している。なお、区長賞授賞作品については、「2021年さいわいガイドマップ」表紙に掲載をする。

- ・令和3年度うめかおる写真展については、幸区役所にて令和3年4月1日（木）～4月15日（木）、日吉出張所にて令和3年5月7日（金）～5月18日（火）を予定している。また、調整中ではあるが、幸市民館でも作品を飾ることができればと考えている。
- ・川柳コンクールについては、令和元年度の試行実施結果を踏まえつつ、区制50周年を迎える令和4年度以降の本格実施に向けて、川崎市立西御幸小学校及び古川小学校の全学年を対象に実施した。
- ・川柳コンクールの作品は、テーマを「幸区と梅」として、令和2年12月1日（火）～令和3年1月12日（火）に募集した結果、西御幸小学校からは330点、古川小学校からは863点の応募があった。募集した作品については、幸区役所展示コーナーにて令和3年2月1日（月）～2月26日（金）に展示をした。
- ・川柳コンクールの応募者全員に記念品（色鉛筆セット）を贈呈した。

＊授賞作品の決定については次のとおり＊

- ・幸区長賞 「希望の春」古川育子（こがわいくこ）さん
- ・幸観光協会会長賞 「ありがとう」上野美幸（うえのみゆき）さん
- ・幸区文化協会会長賞 「香りにさそわれて」宮崎久吉（みやざきひさよし）さん

議題（2）令和2年度御幸公園観梅会の実施状況について

- 企画課）
- ・資料2を用いて実施状況を報告。
 - ・開催日時については、令和3年2月19日（金）～3月7日（日）の9時～17時。
 - ・梅林内での鑑賞機会の提供やクイズラリー及び梅むすびの実施。
 - ・広報については、ポスター、チラシ、区のHP及びSNSを活用した。
 - ・観梅会開催中は、案内所を設置し、常時1名配置した。
 - ・トラブル等は特になく、来園者の傾向やアンケートの意見については、資料のとおりである。
- 神谷委員）今年はずいぶんと梅の花が咲いたように感じた。梅郷という種類の木だけが何本か死んでいるような気がするが、なぜか。
- 整備課）苗木から育てたものを移植している。土が合わなかったのか、樹枝が弱かったのか原因不明である。
- 神谷委員）できれば原因を調べていただきたい。また、枯れている木が1本ある。伐ってしまうのはかわいそうに感じるので、なにか方法がないか考えてもらえればと思う。
- 委員長）私からも1点お願いがある。毎年話題になるが、これから梅の実がではじめる時期になる。梅の実の対策を考えなければならない。無下に立入るな、採るなというのもおかしいと思う。せっかくできた梅の実を子どもたちや施設の方たちになにか活用してもらえない方法はないだろうか。勝手に採る人が現れたら、次々へと現れるだろう。そのようなことが起こらないように、注意していかなければならないと思う。

議題（3）その他報告事項等について

- 整備課）①接ぎ木の取組状況について

- ・本来であれば、令和2年度御幸公園観梅会において、市民協働による接ぎ木・植樹体験イベントを実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止とした。
- ・予定していたイベントの内容については、日本梅の会の大坪先生に接ぎ木の実演をしていただき、その後、市民に圃場で体験をしてもらう予定だった。
- ・本イベントは、事前に1月15日（金）～2月8日（月）の期間で募集をかけており、御夫婦が1組、親子が1組の計2組の応募があった。

②三溪園との取組状況について

- ・1月22日（金）に緑がく梅、1月29日（金）に白梅の穂木の提供を受けた。
- ・三溪園には、接ぎ木・植樹体験イベントを中止した事情及び、次年度改めて挑戦する予定であることを説明し、次年度も引き続き協力していただくよう依頼した。

③総合科学高等学校との取組について

- ・三溪園との歴史や接ぎ木について、映像制作同好会及び放送部の生徒と連携して動画を作成しており、3月中旬に完成予定。完成後は、**YouTube**の川崎市幸区チャンネルに掲載をしようと考えている。また、小学校等にも提供していければとも考えている。

④最後に

- ・先日、道路公園センターの作業班が日本梅の会の大坪先生に接ぎ木の仕方を指導していただいた。今後、三溪園から提供を受けた穂木を使用して、道路公園センターの職員で所内勉強会という形で公園の圃場に接ぎ木をしていく予定である。その結果については、次回の推進会議で御報告できればと思っている。

以上で議事は終了。

事務局）本日の議事録は、後日送付する。

次回の第24回御幸公園梅香事業推進会議は令和3年7月下旬とする。